

R2

**チャレンジ！
 グリーン活動**

省資源・省エネルギー推進コース

直島町立直島小学校

直島小学校 ISO委員会

わたしたち直島小学校ISO委員会は、直島町・直島小学校のよりよい環境づくりを目指してテトラパック回収や節電・節水を中心とした様々なエコ活動に対する全校生の意欲を高めるよう呼び掛けをしたり、日々の実践に取り組んだりしています。全校生が「エコタウン直島」の一員として自覚を高めるよう、力を合わせて頑張ります。(平成14年より、直島町はエコタウンとしての認定を受けています。)

目標

直島のために、いいこと(I)、すすんで(S)、おこなおう(O)

指標

- ・テトラパックの回収を行う。(感染症のため、しばらくは中止)
- ・テトラパック回収だけでなく、インクカートリッジの回収も行う。
- ・消費電力・水道使用量を昨年度より減らすよう呼び掛けやイベントを開催し、減量運動を行う。

活動の様子

本校では、ISO委員会を中心に節電・節水に取り組み、全校生に呼び掛けた。7月～9月はエアコンの電気使用量削減のため、緑のカーテンとしてゴーヤを栽培した。その際、井戸水の使用を勧めたり、ゴーヤの成長の様子を紹介したりした。また、緑のカーテンと並行して、トイレ・教室の節電や手洗い場の蛇口の閉め忘れの確認を行った。ゲーム感覚で楽しめるように、すぐろくスタンプカードを作り、全校生の意欲を高めようとした。

○緑のカーテン

節電のため、緑のカーテンとして校舎の南側にゴーヤを栽培し、ISO委員会の児童が毎日世話をした。水は、南庭にひかれている井戸水を使用した。7月になると、ゴーヤが大きく成長し、収穫ができるようになってきた。緑のカーテンの外と中の気温を調べると、7度の差があり、効果を実感できた。

○すぐろくスタンプカード

節電・節水を楽しんで行ってもらおうと、すぐろくスタンプカードを考えた。節電・節水ができていたらシールを貼り、ゴールに着くと賞状がもらえる。そして、昼の放送でゴールしたクラスを紹介することで、意欲を高めてほしいと考え実践した。また、低学年と高学年ではカードを変え、難易度を変える工夫をした。



ゴーヤを植える児童

成長したゴーヤ



シールを貼る児童



↑高学年
→低学年



<本年度、工夫できた点・挑戦できた点>

- ・緑のカーテンとして植えているゴーヤの栽培に、毎日取り組むことができた。
- ・スタンプカードが一周したクラスには賞状を渡すことで、全校生の意識が高まったと感じた。

目標の達成度

テトラパックやインクカートリッジの回収は今年度は実施できなかったため、新型コロナウイルス感染症が落ち着いたら再開できるよう、ISO委員会の児童でやり方などの引継ぎを行う。

消費電力・水道使用量を減らすための呼び掛けやイベントを開催すると、クラス全体で電気を消そうと気を付けたり、児童同士で声を掛け合ったりと削減活動を行っていた。